

東京の竹中家子孫について

竹中幸甫氏のインタビュー記事から

ここ竹中雛人形製作所は約 100 年間、江戸節句人形を生業にしており、私はその三代目にあたります。徳川幕府最後の陸軍奉行だった曾祖父、重固の娘、竹中つるがこの人形作りを始めました。その技術を「つる」の息子の幸輔が受け継ぎ、さらに幸輔の子である私が継承しています。人形作りを始めて約 60 年になります。一時は大勢のスタッフを抱えていましたが、今は一家で作っています。

竹中家歴代系譜図

